



高齢者でも使いやすいようにフロアは段差のないバリアフリー。仕切りとして、くもりガラスを使い、人の気配がわかるよう配慮。

地域の方々と学校との交流を深める事業も行われるため、トイレ入り口は、誰が見てもわかりやすい大きなサインを採用。

北海道釧路市立 おたのしけ 大楽毛中学校



PFI事業の活用で財政負担を軽減。
改修で地域の防災機能も強化

学校施設整備の予算捻出に頭を抱えている、という声をよく耳にします。ここでは財政が厳しいながら、PFI（*1）事業の活用により、市内のほぼすべての小・中学校の耐震化を終えた釧路市の事例を紹介します。

釧路市には42の市立の小・中学校があり、平成24年4月の段階で耐震化を終えていない学校が18校ありました。竣工から30〜40年経ち、老朽化も進んでいました。そこで、平成27年度末までに15校をPFI事業によって耐震化・老朽化改修することになりました（*2）。

PFI事業を採用した理由について、釧路市教育委員会学校教育部の宮下誠 部次長は、「大きいのは財政負担の軽減ですね」と言います。

15校の整備にかかる総事業費は150億円。国の補助金だけではまかなえず、市の財源も使うこととなります。しかも、従来は工事終了までに負担しなければなりませんでした。



津波を想定した一時避難場所として屋上を整備。屋上に直接避難できるよう外階段も整備した。



トイレ内はパネルヒーターで暖房。サーモスタットがついており、設定温度を下回ると自動的に稼働する。

（*1）PFI=Private Finance Initiative(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う手法。（*2）残り3校のうち1校は統廃合により廃校、2校は小・中一貫校に整備する予定があるため未着手。



男子トイレの小便器は、節水や清潔性を考慮して全自動洗浄小便器を採用。



洗面コーナーは水はね軽減のために深めの壁掛け洗面器に。また、ブースの仕切りはプライバシー確保の観点から天井まで立ち上げ、通気の点から斜めにカットされている。



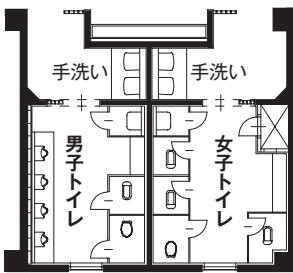
大便器は家庭にあわせて全洋式化。高架水槽方式から直圧式へ配管を変更したため、タンク式を採用。



掃除用流しは雑巾などを洗うため、お湯が出るように配慮。

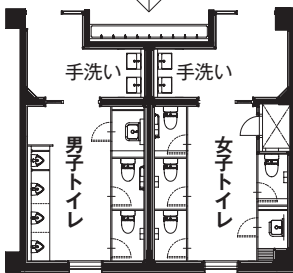


モザイクタイルを使ったかわいらしい女子トイレ。壁は清掃性を重視して汚れを落としやすいキッチンパネルを使用している。



改修前

10年ほど前に行われたトイレ改修では洋式便器を入れたものの、和式便器が多く残る。



改修後

便器は全洋式化。減少した生徒数に合わせてブースを減らし、すっきりしたレイアウトに。

「PFIでは、設計・施工監理等まで民間事業者に一括発注するため創意工夫によって全体の支出が下がる上、市の負担部分を一時的にPFI事業者が負担します。市は事業者に対し割賦払いができるのです。また工期も短くできます」

PFI事業の事業者の決定は総合評価方式。入札価格と事業内容を提案してもらい、優れている事業者を選ぶ方法です。

「今回選ばれた事業者は、プレゼンでトイレの改修に重点を置いていたことが印象的でした」

実際、トイレにはこだわっており、すでに整備が完了した学校のうち3校は、平成27年の日本トイレ大賞を受賞しています。

耐震化完了後に、大規模改修や長寿命化対策が必要な学校施設があるため、市では、大衆毛

中学校をモデルに老朽化対策の検討を開始。大衆毛中学校は施設の老朽化に加え、沿岸部から800mの地点に建ち、周辺に高い建物がないことから、市から津波緊急避難施設に指定され、地域住民の重要な避難拠点としても位置付けられています。

同校は、文部科学省の「平成25年度学校施設老朽化対策先導事業」の1000年学校モデルとしても採択されています。

採択後、まず行ったのはワークショップ。教職員や生徒会役員、地域住民に加え、釧路公立大学学生や釧路工業高等専門学校学生など約40人に集まってもらい、整備の要望を聞き取りました。活発な意見交換が行われ、洋式トイレ化などトイレ整備に関する要望もありました。

これらの要望などをもとに、

(1)長寿命化対策 (2)防災機能の強化 (3)学習・生活環境の充実 (4)地域との連携・交流といった整備方針が決められ、工事が始まりました。

居ながらの改修のため、音の出る工事は放課後に行っています。上級生と下級生が同じ階のトイレを使用しなければならぬ時期などは、休み時間のたびにトイレの前に教員が立って見守るなど、生徒たちの生活に支障がないよう最大限の配慮をしながら工事を進めています。

「生徒たちが落ち着かないんじゃないかと心配でしたが、そんなこともなくほっとしています。トイレが洋式になるなど、きれいになり、みんな喜んでますよ」と阿部典子校長。

工事が終了するのは平成28年10月の予定。完成が楽しみです。

DATA

- 竣工予定年月 / 2016年10月
- 所在地 / 北海道釧路市大衆毛1-10-1
- 施主 / 釧路市
- 生徒数 / 220名 (2016年2月)
- 設計 / 武田建築設計事務所
- 施工 / 坂野建設